

令和元年度摂津市立味舌小学校第2回学校協議会 要点録

令和元年7月5日(金)19:00~20:35

於：味舌小学校校南棟1階学習室

記録：平野 憲昭(事務局：本校教頭)

出席委員：榎谷佳純、以登田毅、門野さとみ、吉田栄子、中居正一、前田文雄、
河合隆之、角田幸代

欠席委員：小澤香織、高森佳代子 (敬称略)

学校出席者：校長 前馬晋策、教頭 平野憲昭、教諭(児童支援担当) 大南圭司

1. 校長より挨拶

第2回学校協議会へのご出席に感謝申し上げます。本日は生活指導担当の本校教諭大南圭司も出席している。

2. 報告・協議事項

(1)学校の近況について

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 5月13日 | 雑誌の取材(教職員の人材育成についてのインタビュー) |
| 5月16日 | 鳥飼なす植え付け |
| 5月17日, 21日, 6月14日 | 足が速くなるダンス①(短距離走の走力向上の取組み) |
| 5月18日 | 土曜参観(終了後引渡し訓練) |
| 5月22日 | 保幼小交流(就学前教育施設の教職員による1年生参観) |
| 5月24日 | PTA総会 |
| 5月25日, 6月22日 | 子ども食堂 |
| 5月28日, 6月18日 | メンター研修(経験の浅い教員の育成者対象の研修) |
| 5月30日, 6月4日, 6月7日 | 3年校区探検 |
| 6月3日 | 初任者研究授業 |
| 6月4日 | 5年非行防止教室 |
| 6月5日 | 風水害避難訓練 |
| 6月12日 | 5年田植え |
| 6月13日 | 児童会主催ドッジボール大会 |
| 6月15日 | 摂津市防災サミット(味舌小学校の取組み発表) |
| 6月17日 | 2年目代表授業(本校の2年目教員の授業を市内初任教員が参観) |
| 6月21日 | 6年被爆体験伝承講話 |
| 6月24日 | 6年非行防止教室 |
| 7月1, 2, 4, 5日 | 個人懇談会 |

7月 3日 セーフティパトロール

7月 4日 民生懇話会

(委員) 通学路を外れる子どももいる。友達と帰りたいからか、少しでも早く帰りたいからか。通学路になっても歩道がなく、狭い道もあるので、保護者が別の道を歩かせているのかもしれない。

(校長) 安全ということを考えて、こちらの道を通らせて欲しいなど、保護者の声もある。安全安心メールの情報が流れた場合の対応も含め、安全指導についての検討が必要。また、一人で帰らないということの指導を徹底する必要がある。

(2)学力向上に向けて

(校長) 味舌小学校の児童の学力について、どのように感じられているか。

(委員) 摂津市ではよくても、全国的に見ればけっしてできていない方ではないのでは？

(委員) 家庭の状況も影響するのでは？何か取組みをしたらすぐ伸びるとは言えない。結果がすぐ出るわけではないので、話を聴くこと、勉強したいと思わせることが、学校ですぐできることではないか。

(委員) 知識をどのように集めるのか、必要な時にどのように使うのか、人とどのようにつながるのか、人とどうやって協力するのか、つまり、「生きる力」をどのように育むのか。人の話を聴く、何を言おうとしているのかを理解する。そして、人に伝える。そのために、グループ活動を授業に取り入れることが必要なのではないか。

(委員) 近隣市とはそんなに差はないと思っている。校区探検をするときに感じるが、落ち着いた環境で勉強できることがまずは大切ではないか。

(委員) 同じ市内でも地域差が大きいのでは？

(委員) 全国学力・学習状況調査の結果で見ると摂津市の学力は低いかもしれない。しかし、必要な力、求められる力が変わってきているのではないか。たくさんある情報をいかに活用するかが求められているのではないか。

(委員) 学力は何で測るのか？全国学力・学習状況調査の結果だけで見たら、摂津市は低く。この結果で見れば、学校は何をしているのかと言わざるを得ない。公立の学校は指導力がないと思われてしまう。「何位であったか？」それを目標に、超えていくことが学力を向上することにつながるのではないか？

(校長) 平均正答率だけでとらえることは、様々な背景もあり難しい。もちろん、点数は取らせたいと思っているが…。

(委員) 子どもに必要な力は学力だけではないので、一面的には測れない。

(委員) 七輪体験などの児童の様子を見ると、先生の言うことをよく聞いて意欲的に取り組んでいる。先生の前向きな対応を見ると、よく頑張っていたらと思う。

(委員) 点数だけでは測れない部分もある。府内の市町村の平均正答率ランキングなどが話題になるが、それだけではないと思う。

(大南) 点数を取ること大切。学校としては、単純に点数のことだけを言うのではなく、児童の置かれている環境を考えて、サポートしながら取り組みたい。全教科が良ければいいのだが、「算数が好き」、「国語が好き」など、自分の得意なことを見つけて、やる気を出させることも必要。

(教頭) 児童の様々な環境を配慮することや、点数だけでは測れない「生きる力」を育成することなどは、もちろん必要なこと。それを踏まえた上で、学校は、学力を向上させることに注力しなくてはなら

ない。そこから目を背けてはいけないと考える。

(校長) どんなテストで何の力が測られるのかを理解しておかないといけない。点数で一喜一憂するのではなく、出題されている問題には、今育てたい力を測る意図がある。それがわかった上で、テストの点数を取れるようにしたい。

知識・技能を習得した上で、それをいかに活用できるか。また、学び続けることが求められている。人の多様性を認め、協働性が必要。これらを総合して学力と定義されている。

学力を育むために、新しい学習指導要領がめざす学びは、「主体的・対話的で深い学び」。そのような学びを児童に行わせたいという願いを持って、本校では国語科で「書き換え学習」を重点研究テーマに取り組んでいる。

全国学力・学習状況調査の国語の問題では、「ポスターを見て、要点を箇条書きにしてください。」「この5点を必ず入れて長文を作りなさい。」など、「書き換え」に関わる問題が少なくない。本校の児童においては、知識の部分はかなり定着してきているが、それを活用し、思考・判断・表現する問題が十分にはできていない現状である。

昨年から研究発表会をはじめ研究授業を重ねているが、インプットしたことを用途に応じてどのようにアウトプットするのかはかなり難しい。大学より研修の講師を招き、研修を重ねている。

主体的・対話的で深い学びが実現できるように、授業の導入部分で興味・関心をより大きなものとするよう、様々な考えを比較・検討する場をできるだけ多く設定できるよう、授業で学んだことを家庭や地域で活かせるよう、その他の教科でも取り組んでいる。

その他、学ぶ基盤としての集団づくり、学びの環境づくりとしてのユニバーサルデザイン、学ぶ意欲を育むためのチャレンジスタディ、振り返って自ら学べるようなノートづくり、学校全体でのテーマ学習、その他多くのことに取り組んでいる。

今、児童に必要な力を育むために、学力調査で求められる力は、これからの社会で生きていくために必要な力であり、その力を育む取組みを紹介させていただいた。その上で、学力調査でも正答率を上昇させたい。

(委員) 外国から来られた方も増えてきているが、わかりやすいように言語を書き換えて伝えるということが求められている。

(委員) これからの社会は書き換えの力が必要。素晴らしい取組みだと思う。

(委員) プログラミング教育にもつながる内容。コンピュータの答えは一つ。人は、コンピュータにどのような指示を出すかを考えることが必要。

(委員) 個人差があるというのは、読書量に差があるのかなと考えるが、読書についての取組みは進んでいるか。

(校長) 本の貸し出しは増えている。休み時間の過ごし方は様々だが、本に親しむことは大切。

(3)学校美化について

(校長) 味舌小学校はきれいだと思われるか。

(委員) (委員声を揃えて)きれいだと思う。

(委員) どこまできれいであるかを求めるのか。きれいというの見方によって違う。隅を見れば汚れているが、散らかっていないのできれい。学校では、たくさんの人間が生活しているので完璧にはできない。

(校長) 仰ることはその通り。「気が付く」というということが大切である。児童が掃除した後、雑巾をそのままにしたり、水がこぼれたりしていることがある。教員も気付いていないこともある。

ごみを拾える人、出ているものを片付けられる人、気付ける人に教職員も子どももなって欲しい。

学校アンケートの結果から、多くの保護者から掃除ができているとの評価をいただいている。一方、教職員については「清掃が行き届いている」と思う割合は60%に留まり、まだまだ足りていないと感じている。ただきれいであればいいというのであれば、業者に委託すればいいかもしれない。清掃活動は教育活動の一環であり、ねらいをはっきりさせる必要がある。もっとも、外国の方が学校に来られた際には、児童がトイレ掃除をしていたり、給食を教室で食べていたりすることに驚いている。

(委員) 確かにねらいが必要。掃除をすると教室などに愛着が湧く。棒雑巾は使わずに、床を磨く。きれいにするだけなら大人が掃除をすればよい。

(校長) 15分間だけの短い清掃時間。児童は真面目によく頑張っている。1年生から6年生まで、細かいところまできれいにしている。また、教職員も学期末など定期的にトイレやエアコンなどを掃除している。さらには、校務員による樹木剪定・トイレ掃除、施設・備品の営繕も行っている。本校には、パッカー車があり、各校で樹木剪定を行った際の枝や葉などを回収する作業も校務員が行っている。

(委員) せっかく掃除したのだから後片付けまできちんとやらせて欲しい。

(委員) 児童の清掃は大事。それは多くの先人も述べている。ただ、教職員による清掃はどうか。業者を入れて行うべきではないか。

(委員) 学校で学んだことを家庭で生かしているのか。引き続き続けて清掃活動に取り組んで欲しい。

(委員) きれいになると気持ちよくなるもの。それは地域の大人も同じである。

3. その他

(1) いじめ防止について

(校長) 報道でご存知の通り、吹田市でのいじめ事案に関わって、その対応について第三者委員会からの報告があった。

天津市でのいじめ事件を受けて、平成25年にいじめ防止対策推進法が施行され、この法では、いじめの定義が明記され、早期発見・迅速な対応が学校及び学校の教職員の責務となっている。学校はこの法に則って対応する組織や方策をいじめ防止基本方針により定めている。いじめはどこでも起こり得るものであり、だからこそ未然防止や早期発見、早期対応が重要。今年度、いじめ防止基本方針を一部改訂した。

(委員) 基本方針は、校長が作成したのか？

(校長) 校長が作成している。本校の生活指導委員会の方針やカリキュラムを踏まえ、法に則した内容になるよう考えている。

(委員) 生活アンケートは、年に何回実施しているのか？

(校長) 各学期1回ずつの計3回。実態把握とともに、何かを訴えている児童から聴き取りを行い、未然防止や早期発見に努めている。

(委員) 取組みがマンネリ化してしまうことがよくある。早期発見と言うが、なかなか見つけられない。けんか、悪ふざけと捉えてしまったり、逆に小さなことを保護者が学校に言ったりするケースもある。いじめは、受け止める側の問題でもある。受け止める側がいじめられて嫌だと感じないように配慮すべきである。

(委員) 他校で地域活動のサポーターをしているが、何か変わったことに気が付いたら、情報を学校に伝

えるようにしている。他のサポーターから広く情報を集めている。

(2)次回について

- ・ 報告・協議事項は次のとおり
 - ①夏休みの生活を振り返る
 - ②今年度の運動会
 - ③学校での栽培活動
 - ④働き方改革の現状
- ・ 開催日時は、9月4日(水)19:00より。本校学習室にて。

(校長) 児童にとっては楽しい夏休みではあるが、過ごし方については課題も多い。次回は児童の夏休みの様子等、報告したい。

また、学校では様々な植物を育てている。かつて学校飼育動物が各学校にいたが、様々な課題があり、今ではどこの学校でも飼っていない。生き物を育てるという経験は児童の教育にとって重要なものであり、学校での栽培活動を大切にしたいが、なかなかうまく進まない。

教員の働き方改革の取組みは、毎週水曜日は午後6時に一斉退勤するなど、4月より実施している。その状況についても次回にお知らせする。

今年度の本校の運動会は9月28日(土)に開催する。暑さ対策、安全確保の問題など課題があるが、運動会についても実施内容等、お伝えし、ご意見を頂戴したい。